

1. 単元名「生き物新聞」
教材名「めだか」

2. 単元の目標

・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。

【知識及び技能】(2)ア

・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)ウ

・様々な思考ツールを活用して、段落ごとの要点をまとめようとする。

【学びに向かう力、人間性等】

3. 指導事項に合致した言語活動とその特徴

指導事項に合致した言語活動として、「新聞作りを通して、めだかの説明文を要約し、自分の考えをまとめる活動」を位置づけた。新聞作りをする際には、めだかの説明文を読んで内容を理解する必要がある。めだかの身を守る方法や体の長短をまとめる活動の中で、様々な思考ツールを活用していく。説明文の内容や自分の考えを整理しながらまとめ、新聞を書いたり、人に読んでもらうという目的意識を持ち学習を進めることで、「段落ごとの要点をまとめたり、めだかについて自分の考えをまとめたりすることができる」という目標を達成することができる。

4. 単元について

(1) 教材観

教材文「めだか」は、めだかが川の中でどのように過ごしているかについて書かれている説明文である。めだかは児童にとってはなじみのある生き物でもあるが、最近の自然環境の変化の影響で、見たり育てたりしたことがある児童はとても少ない。そのため、めだかという生き物自体は知っていても、その生態についての知識がある児童はほぼいない。児童はこの説明文を読むことでめだかがどのように敵から身を守っているのか、また、厳しい自然に耐えるためにどのような体のつくりになっているのかについて知ることができる。この説明文は文章の構成がパラグラフライティングを基本としているため、要点や思考の整理がしやすく、児童にとって、段落相互の関係を意識しながら文章の構成を考えるのに適した教材であると考えた。

(2) 児童の実態

実態調査の結果や分析については、省略させていただきます。

(3) 指導観

〈研究仮説について〉

児童が学びたいと思えるような導入や目的を設定し、個に合わせた手立てを工夫すれば、主体的に学びに向かう力が育つだろう。

本校の研究仮説を検証するために、以下の3点に取り組む。

① 学習の計画を立て、毎時間の振り返りを行う。

学級全体で計画を立てて学習に取り組み、毎時間の振り返りを行う。つきたい力を明確にするために、この時間にはどんな力を身につけたいのかを考えさせながら計画を立てていく。振り返りでは、自分ができるようになったことや、次時にはどんな力を身につけたいのかに焦点を当てて振り返らせたい。

② 目的意識をもたせる。

本単元では新聞にまとめるという言語活動を行う。新聞は不特定多数の人が読むものであるため、読み手に興味をもってもらえる文章を書いていく。そのため、文章自体が読みやすく整理されていること、見出しが工夫されていることなど、読み手に伝わりやすい文章が書けているかを意識させ、まとめさせていきたい。

③ 思考ツールを活用する。

文章の内容を整理する際や、自分の考えをまとめる際に、必要に応じた様々な思考ツールを活用する。文章の内容や自分の考えを分類したり、比較したりする際の手立てとして活用することで、主体的に内容を整理したり自分の考えを表現したりすることができる児童を目指していく。

〈単元について〉

本単元では、「めだか」を読むことを通して、めだかが川の中でどのように過ごしているかについて要約をし、それに対して自分の考えを明確に持つこととしている。要約は文章を読解するうえでとても重要な力となる。文章全体の内容を把握したうえで、内容の中心となる語や文を選び、もとの文章や自分の言葉を用い、文章を短くまとめていく。本単元では、自分の力で本文を読み取り、要約を行い、要約をすることの良さについて考えていく。

第一次では、めだかのくらしかたの動画を観ることでめだかについて知る。また、本文を読み、めだかについての大体を知り、意欲をもって学習に取り組むことができるよう、学習計画を立てさせたい。

第二次では、教科書の内容を確認しながら、めだかの身を守る方法や体の特長について要約していく。この学習の中では、必要に応じた思考ツールを活用していく。思考ツールを活用することで、児童が主体的に文章の要約ができるようにさせたい。また、要約して分かった内容とつながりを持たせ、自分の考えを持つことができるようにさせていきたい。

第三次では、第二次までにまとめた要約をもとにめだか新聞を書いていく。ただ要約したことを写していくのではなく、事実に対しての説明や、自分の考えなどを、読む人にわかりやすい文になるように工夫しながら書かせていきたい。

5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解している。 (2)ア	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 C(1)ウ	様々な思考ツールを活用して、段落ごとの要点をまとめようとしている。

6. 指導と評価の計画(9時間扱い)

学習過程	時配	学習内容・学習活動	評価規準・評価方法等
一次 (見出す)	1	・学習計画を立てる。 ・めだかについての動画を観る。 (NHKforSchool「メダカのくらしかた」) ・本文を読み、初発の感想を発表する。	[主体的に学習に取り組む態度] 〈発表・振り返り〉
二次 (自分で 取り組む)	2	・本文を読み、文章のつくりを考える。	[知識・技能] 〈ワークシート・振り返り〉
	3	・「はじめ」の部分を読み取る。	[思考・判断・表現] 〈ワークシート・振り返り〉
(広げ 深める)	4	・「中①」の部分を読み取る。	[思考・判断・表現] 〈ワークシート・振り返り〉
	5(本時)	・「中②」の部分を読み取る。	[主体的に学習に取り組む態度] 〈ワークシート・振り返り〉
	6	・大段落ごとの要点をまとめ、感想を書く。	[主体的に学習に取り組む態度] 〈ワークシート・発表・振り返り〉
三次 (まとめ あげる)	7	・めだか新聞にまとめる。①	[知識・技能] 〈ワークシート・振り返り〉
	8	・めだか新聞にまとめる。②	[思考・判断・表現] 〈ワークシート・振り返り〉
	9	・新聞を読み合い、感想を伝え合う。	[主体的に学習に取り組む態度] 〈振り返り〉

7. 本時の指導 (5/9)

(1) 本時の目標

めだかの体の特長について、段落ごとにキャンディーチャートにまとめようとする。

【学びに向かう力、人間性等】

(2) 展開

過程 時配	学習内容と学習活動	指導・支援(○)と評価(◇)	備考
導入 見出す 2分	1 前時の学習を振り返る。	○学習計画を確認し、本時の見通しをもたせる。	学習計画表
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>🎒 キャンディーチャートを使って、めだかの体の特長をまとめよう。</p> </div>		

展開 自分で 取り組む 3分	2 本時のめあてを確認する。	○中①の要約の掲示物を提示しながら、本時の活動を確認する。	掲示物 (中①)
2分	3 要約の仕方を確認する。	○要約について確認する。	掲示物 (要約) ワークシート
15分	4 キャンディーチャートの使い方を確認する。		書画カメラ
15分	5 キャンディーチャートを使い、自分で要約をする。	○中心となる文を残し、できるだけ短く分かりやすい文になっているかを確認させる。 ◇中心となるめだかの体の特長についてまとめようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	
3分	6 キャンディーチャートを友達と読み合う。	○共有の仕方について理解する。	
広げ 深める 15分	7 発表する	○一項目ごとに発表させ、その都度自分の考えを書かせる。	
	8 要約したことに対する自分の考えを書く	○自分の考えを発表する。	
まとめ 5分 まとめあげる	9 学習の振り返りを行う。	○本時の学習を通して、自分にどんな力が身についたのかを考えさせる。	学習計画表

(3) 板書計画

キャンディーチャートの拡大図

☆文が分かりやすく書かれているか見直す

☆それぞれの文をできるだけみじかくまとめる

☆中心となる文と、それを説明する文を見つける

要約

学

キャンディーチャートを使って、めだかの体の特長をまとめよう。

(4) 評価

Aと判断する状況の例	キャンディーチャートの良さに気づき、めだかの体の特長をまとめることができる。
Bと判断する状況の例	めだかの体の特長をキャンディーチャートにまとめることができる。
Cと判断する状況と手立ての例	Bに達しない児童をCと把握する。 Cと判断する状況の手立て ・要約をすることができない 手立て 教科書に赤線を引かせるなど、大事な部分を視覚化していく。